

お茶の水女子大学での交換留学

ヴァッサー大学

ティナ・アイ

日本での留学期間では、自分が体験できるとは思っていなかった経験をすることができました。世界の様々な地域から来たたくさんの新しい人々に出会い、今後も連絡を取り合う友人ができました。東京のことを知り、何度も訪れたくなる魅力的な場所をたくさん見つけました。授業ではたくさんの興



味深いピックを学びました。

日本での数か月間、私は楽しみにしていた多くの瞬間を経験しました。桜の季節の直前に東京に到着しましたが、その美しさに本当に驚きました。桜の季節には、桜が咲いているところへよく散歩に行きました。日中も美しいですが、太陽の光の下では夜の方がより美しいと感じました。夏が近づき、

鎌倉や江ノ島の海を訪れたり、蝉の鳴き声がうるさい夜の代々木公園をよく散歩しました。東京とその周辺の春と夏の両方の季節を体験できるのは、まさに理想的な体験でした。しかし、これを書くことは長い別れを書くことになります。長い散歩にも、人々にも、そしてよく通っていたお店にも別れを告げます。

また、勉強を手伝ってくれた多くの教員や先生方ともお別れの時が来ました。私は留学生向けの日本語コースと、お茶の水女子大学に通う学部生向けの英語コースを組み合わせ受講し、その経験は私の心に深く刻まれました。今学期で最も心に残ったのは、具先生の「漢字中上」の授業です。授業の初日から、具先生が私たち生徒一人ひとりを大切に思い、教えることに情熱を注いでいることが伝わってきました。具先生の授業に行くのはいつも楽しみでしたし、実生活で役立つたくさんの漢字を学ぶ喜びを感じました。

さらに、同様に、赤木先生の「会話」の授業にも感謝したいと思います。私たちのクラスは私を含めてたった4名だけになり、そのため和気あいあいとした楽しい雰囲気が自然と生まれました。赤木先生は温かい心の持ち主であり、授業が始まる前にいつも時間を取って、私たち全員の様子を見守ってくださいました。赤木先生は、私たち一人ひとりをただの生徒としてではなく、一人の人間として深く知ろうとする姿勢に溢れていました。その熱心さと優しさにより、私たちは心の底から親密さを感じることができました。こうして、多くの素晴らしい先生方との出会いと別れを経て、私は新たな旅立ちの日を迎えます。それぞれの授業で学んだことが、これからの私の道しるべとなります。

最後に、毎月時間を割いて私の毎月の振り返りシートを読んでいただき、いつも親切な対応をいただいた大藪海先生に感謝の意を表したいと思います。そして、入寮をスムーズに進め、キャンパスや寮生活の運営を手伝ってくださった音羽館の教職員の皆様。また、東京での学校生活や学校生活で困ったことがあったとき、いつも親切に対応してくださった国際支援室の皆様にも大変感謝しています。

1学期は長くはないですが、短くも感じませんでした。本当に非現実的な学期でした。私の留学経験がこれほど新しい経験と新しい出会いに満ちたものになるとは予想していませんでした。ここにいる間に私はたくさんのサポートを感じました、そして私は東京と人々の両方に戻る時を永遠に楽しみにしています。

